

話題がいっぱい /  
なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、  
まちの話題をお届けします。  
ここで“なかゆくい”しませんか。  
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」  
にも市内のできごとを紹介しています。



### 9/6 中学生が訴える素直な思い

中学生が日頃の思いを発表する「沖縄県少年の主張那覇地区大会」が行われ、本市からは仲西中学校3年の糸満彩夏さん、浦西中学校3年の諸見龍之介さん、神森中学校3年の譜久山心奈さんの3人が浦添代表として出場しました。

日常生活で感じたこと、体験したことをテーマに、糸満さんは「考えることをやめるな!」、諸見さんは「本気の証」、譜久山さんは「私はわたしを受け入れる」と題して力強く発表しました。

優秀賞に選ばれた糸満さんと譜久山さんは、那覇地区代表として「沖縄県少年の主張大会」にも出場しました。



▲1列目左から3番目 崎浜秀和さん

### 8/26 茶山黒木隊 道路の美化活動に尽力

茶山団地前バス停周辺で、ミニサンダンカの植栽やゴミの回収等、定期的な道路愛護活動を続ける「茶山黒木隊」が「道路ふれあい月間」道路愛護功労者表彰で沖縄地方推進協議会会長表彰を受賞しました。この賞は、道路交通の安全や道路の正しい利用、道路愛護等に努めその功績が顕著な民間の団体等に与えられます。

この活動には、茶山自治会や浦添工業高等学校など地域全体で協力して取り組んでおり、地域の美しさと清潔さを保つ役割を担っています。崎浜秀和代表は「幅広い世代との交流を通してみんなが自発的に参加し、地域の環境美化に関心を持ってくれると嬉しい。この活動が継承されるよう、頑張っていきたい」と話しました。



### 8/24 祝! うらそえ社会教育いきいきまつり2024

「学びの成果大集合! みんなアツまれ アツくなれ!」をキャッチフレーズに、うらそえ社会教育いきいきまつり2024がてだこ小ホールにて行われました。放課後子ども教室のいきいきとした活動と、公民館登録団体の皆さんが日頃の成果を発表する機会になりました。出演者からは「楽しい!」「また舞台に立ちたい!」とはずんだ声が聞こえてきました。

陶芸・飾り花・袋物の成果物販売では、購入者と会話を楽しむ姿がみられ、図書館ではとしまる公開などもあり、笑顔でアツい一日になりました。また、高校生・大学生、公民館登録団体の皆さんのボランティアもあり、全世代でまつりを盛り上げてくれました。



### 両施設の“愛称”は10月以降も継続決定!

「ANA SPORTS PARK 浦添」と「アイム・ユニバース てだこホール」の愛称で親しまれている両施設について、10月以降も同愛称となることが決定しました。ネーミングライツ(命名権)とは、公共施設の名称に社名や商品名などの愛称を付けることができる権利のことです。

ネーミングライツの導入により、新たな収入の確保や施設サービスの向上が期待されます。本市では、今後もネーミングライツパートナーである全日本空輸株式会社、株式会社アイム・ユニバースとともに、スポーツ振興や文化振興を基盤とした地域活性化に取り組んで参ります。



### 8/29 美術館友の会より輪島市へ義援金

浦添市美術館友の会より、能登半島地震によって被災された石川県輪島市へ義援金が贈呈されました。

浦添市と輪島市には、浦添出身を含む沖縄の工芸家が輪島市で「輪島塗」の技術を学んだり、浦添市美術館と石川県輪島漆芸美術館が友好提携を結び、相互の展示会を開催したりするなど深い関わりがあります。

浦添市美術館友の会会長の伊禮厚子さんは「今回、浦添でも展示会などを通して交流のあった輪島市を少しでも支援したい、という会員のみんなの気持ちで義援金を送らせていただきました」と述べ、銘刈教育長は「この義援金を友の会の皆さんの思いと一緒に輪島市の皆さんへお届けします」とあいさつしました。



### 8/23 未来を担う中学生、議会を体験

政治・行政を学ぶ「第4回てだこ子ども議会」が市議場で行われ、市内中学校に通う27人が参加しました。

日々の生活や学校生活の中で感じてきた疑問や改善点について、議会体験を通して市長や市職員へ子ども議員から質問や要望が出されました。議会では、モノレールの市内路線増設や災害に備えた対策・設備強化、各教室・体育館へのクーラー設置費用についてなど、さまざまな質問が飛び交いました。議長を務めた仲西中3年の糸満彩夏さんは「みんなをまとめる役割は緊張したけど、とても良い経験になった。また、実際に自分の疑問に直接答えてもらい、真摯に向き合って問題を解決しようとしていることがわかった」と話しました。



### 8/20 市のクラブ野球チームが九州代表に

8月4日に行われた、第48回全日本クラブ野球選手権大会九州地区予選で優勝したシンパネットワークアーマズベースボールクラブが市長を表敬訪問しました。

同クラブの照屋部長は、ビッグ開発ベースボールクラブとの決勝戦について、「どちらに転んでもおかしくない試合で、激闘の末勝ち抜いた」と振り返り、島袋マネージャーは「沖縄代表として、挑戦しながら1戦1戦頑張っていくので応援よろしくお願ひします」と全国大会への意気込みを語りました。また、松本市長は「全国大会でもいい試合ができるよう、体に気をつけて頑張してほしい。応援しています」と激励の言葉を送りました。